

令和7年度 第2回 奈良県公共事業評価監視委員会

〔事業再評価〕（前回評価：令和3年）

再評価実施理由：社会経済情勢の急激な変化等により再評価の実施の必要が生じたため
（大幅な事業計画の見直しのため）

まほろば健康パーク 機能強化事業

令和7年12月

奈良県県土マネジメント部

まちづくり推進局 公園企画課

目次

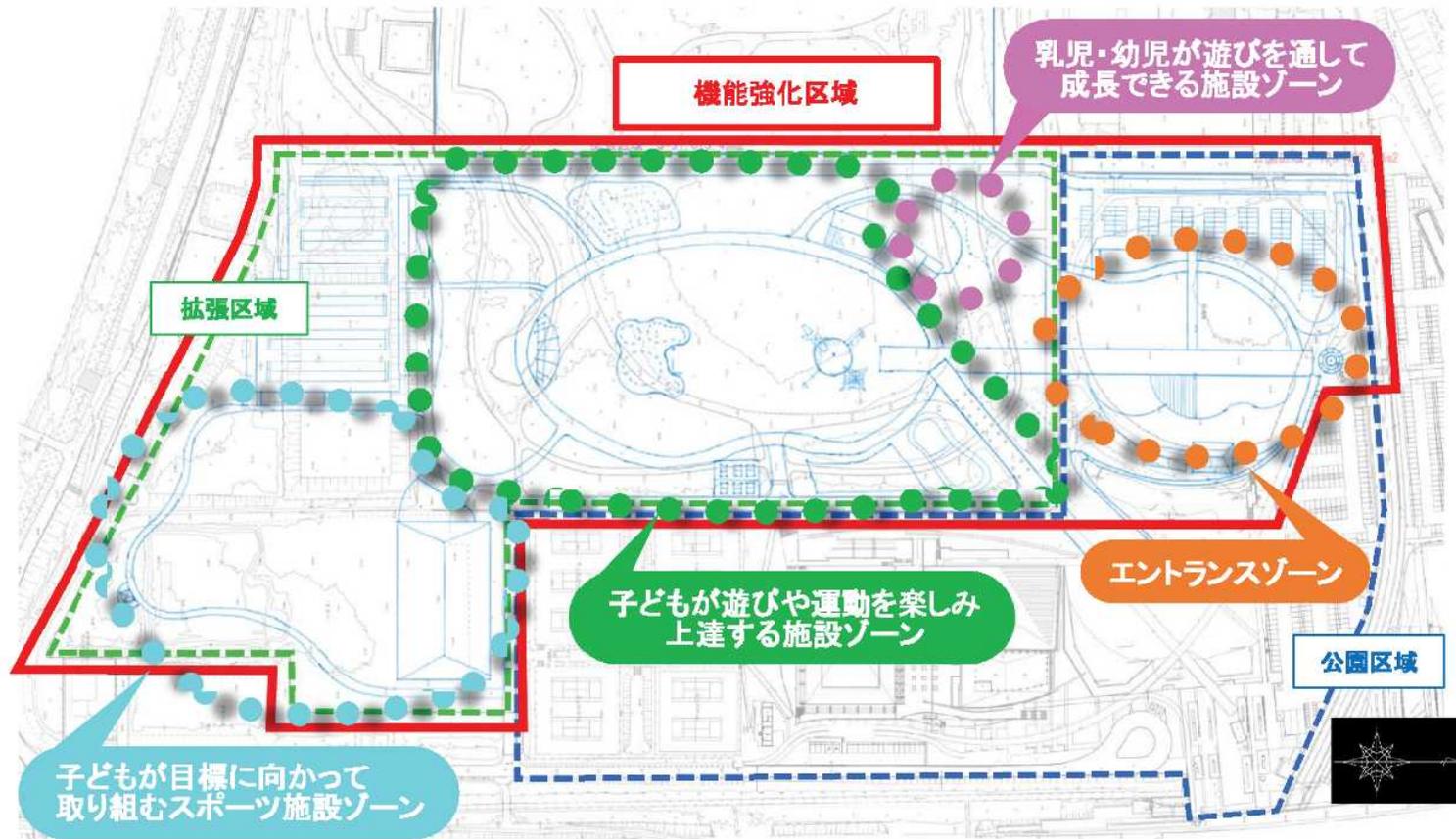
1. 事業の経緯
2. 事業の必要性（現状整理）
3. 事業のコンセプト・方針
4. 整備内容の検討
5. 費用対効果分析
6. コスト縮減への取組
7. 対応方針（案）

1. 事業の経緯

- S49年度 都市公園（運動公園）「浄化センター公園」として都市計画決定
- S59年度 まほろば健康パークは、大和川・佐保川の合流点に位置する城下センターの周辺環境向上と県民の障害スポーツの拠点として、テニスコートやファミリープールをもつ運動公園として開園
- H26年度 奈良市内の県営プールの老朽化に伴う、新たな水泳拠点の整備のため、県内初のPFI方式を導入した、「新県営プール施設等整備運営事業」として、移転・再整備
- H30年度 隣接する浄化センターの拡張予定であった土地を活用し、公園の機能強化を行う基本構想を策定

1. 事業の経緯

R3年度 まほろば健康パーク機能強化基本計画を策定



まほろば健康パーク機能強化基本計画における基本計画図（令和3年度）

R3年度 新規事業評価 採択

1. 事業の経緯 (事業の必要性)

事業採択時の計画

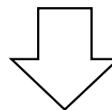
【必要性】

①子どもが遊びを通して体力・運動機能をはぐくむ環境づくり

- ・奈良県スポーツ推進計画（H30.3）では、子どもの運動時間が短くなっていることや、運動する子どもとしない子どもの二極化がみられる等の問題意識から「幼児期からスポーツに親しむ機会」を持てるよう「公園などを活用したスポーツ環境の整備」が求められているが、県内にはこれまで、こうした観点を持って計画・整備された都市公園はなく「子どもが遊びを通して体力・運動機能をはぐくむ環境づくり」が必要である。

②利用者ニーズへの対応

- ・現在のまほろば健康パークは、道路・鉄道とのアクセスも良く、プールやテニスコートは県内各地から多くの利用をいただいているが、来園者からは「子どもを安心して遊ばせられる空間」「子どもの運動・遊びを支える施設」をさらに求める意見が多くあることに加え、「多様なスポーツを気軽に楽しめる」「行事・イベントを楽しむことができる」といった意見もあり、県民サービス向上の観点から、より多くの方々に様々な形で利用いただける公園としていく必要がある。



【基本コンセプト】

みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園

【基本方針】

- 1) 子どもの成長段階に応じた遊び・スポーツ施設ゾーンの整備と、子どもを中心に多世代が集まり誰もが同じ場所で一緒に遊べるインクルーシブな空間の創出
- 2) 既存植栽を活かし、緑豊かな憩いの空間を整備
- 3) 周辺施設との連携による賑わいの創出

1. 事業の経緯 (計画イメージ図)

事業採択時の計画

② 子供が遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン

対象年齢: 3歳～10歳

フィールドアスレチック



ふわふわドーム



スケートパーク・キックバイク



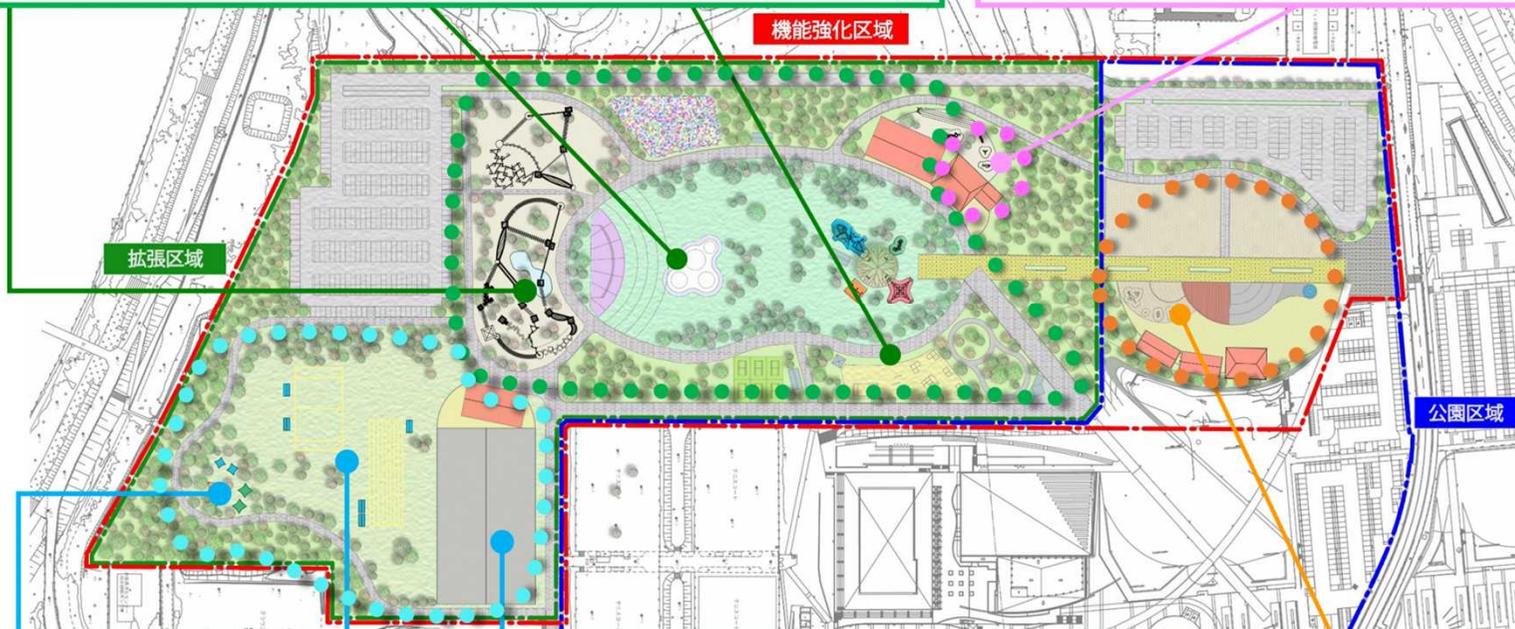
① 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン

対象年齢: 6か月～5歳

乳幼児の屋内施設



乳幼児の屋内施設



③ 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン

対象年齢: 8歳～15歳

アウトドア体験 (プログラム例)



サッカー教室 (プログラム例)



屋根付き人工芝広場



エントランスエリア

インクルーシブ広場



カフェ・レストラン

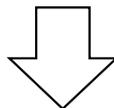


1. 事業の経緯

R4年度 民間事業者を募集するための入札公告等を公表

R5年度 予算執行を一旦停止し、入札を中止

- ・ 山下知事による予算執行査定の結果
新たな施設の整備については、ニーズの把握や他の既存施設とは異なる付加価値の提供等が重要。県内の同種の施設との重複も含め、整備が必要な施設を再検討すること。



予算執行査定を踏まえ、整備内容を再検討

1. 事業の経緯

R5年度

第1回 奈良県こども・子育て推進本部会議

・課題の共有内容

「障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる
場所（公園）が少ない」



課題の共有を受けて、当該公園の拡張整備において、インクルーシブ公園の機能を新たに確保することができないか、検討を進めることとする。

※インクルーシブとは

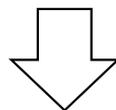
「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう擁護し、社会の構成員として包み、支え合う」という理念である。

※奈良県こども・子育て推進本部会議

こどもを取り巻くあらゆる課題を視野に入れ、こども・子育て施策を総合的かつ部局横断的に取り組むため、知事を本部長、副知事を副本部長とし、「奈良県こども・子育て推進本部」を令和5年7月に設置



奈良県こども・子育て推進本部会議



「まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会」にて審議

1. 事業の経緯

R5年度

まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会

- ・ こどもの成長・発達を促し、子育て支援に資する公園を目指し、有識者で構成する「まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会」を設置

| 分野 | 氏名 |
|-------|-------|
| 会計・経済 | 鵜殿 裕 |
| 地元 | 菅家 英美 |
| 公園 | 根本 哲夫 |
| 福祉 | 野村 恭代 |
| 教育・運動 | 星野 聡子 |
| 福祉団体 | 前田 妙子 |
| 地元 | 松本 幸二 |
| 公園 | 矢藤 洋子 |

委員会名簿（五十音順）



インクルーシブ機能検討委員会の様子

インクルーシブ機能検討委員会での検討内容

- ・ 現状整理、ニーズ調査
(近隣公園整理、利用者や障がい者団体等に対してニーズ調査を実施)
- ・ 整備方針（整備コンセプト、整備方針）
- ・ 導入する機能、提供サービス（子どもを対象に整備に関するニーズ調査を実施）
- ・ 整備範囲のゾーニング、動線
- ・ 施設配置、事業手法・官民役割分担

R6年度

まほろば健康パーク基本計画の策定

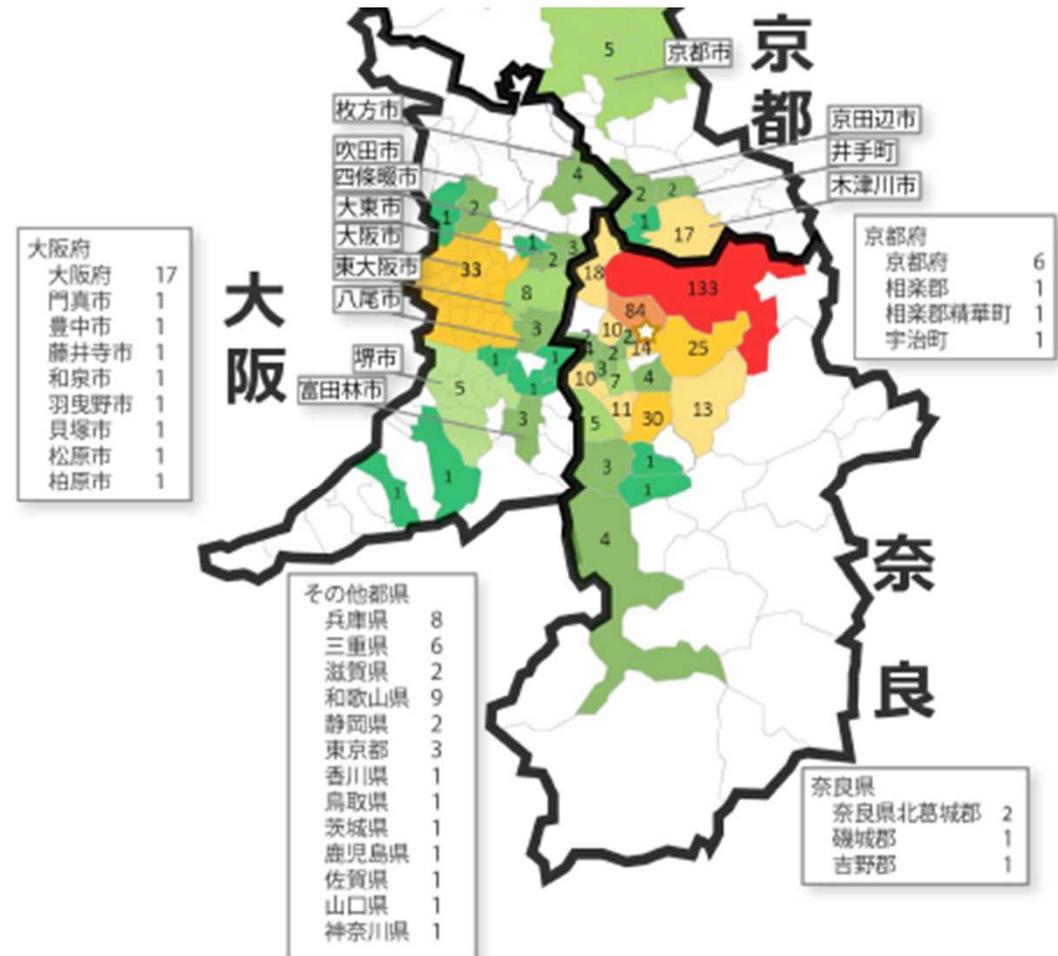
2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（まほろば健康パーク利用者の来園範囲）

◆ 本公園の利用者は、奈良市、大和郡山市をはじめ、橿原市、天理市などの県内、大阪市、木津川市など他府県からも来園している。

まほろば健康パークの利用圏域
（上位20位まで記載）

| | | | |
|----|---------|-----|--------|
| 1 | 奈良市 | 133 | 24.3% |
| 2 | 大和郡山市内 | 84 | 15.3% |
| 3 | 大阪府大阪市 | 33 | 6.0% |
| 4 | 橿原市 | 30 | 5.5% |
| 5 | 天理市 | 25 | 4.6% |
| 6 | 生駒市 | 18 | 3.3% |
| 7 | 京都府木津川市 | 17 | 3.1% |
| 8 | 大阪府 | 17 | 3.1% |
| 9 | 磯城郡川西町 | 14 | 2.6% |
| 10 | 桜井市 | 13 | 2.4% |
| 11 | 大和高田市 | 11 | 2.0% |
| 12 | 香芝市 | 10 | 1.8% |
| 13 | 生駒郡斑鳩町 | 10 | 1.8% |
| 14 | 大阪府東大阪市 | 8 | 1.5% |
| 15 | 北葛城郡広陵町 | 7 | 1.3% |
| 16 | 京都府 | 6 | 1.1% |
| 17 | 葛城市 | 5 | 0.9% |
| 18 | 大阪府堺市 | 5 | 0.9% |
| 19 | 京都府京都市 | 5 | 0.9% |
| 20 | 磯城郡田原本町 | 4 | 0.7% |
| | その他 | 93 | 17.0% |
| | 合計 | 548 | 100.0% |



資料：ファミリープール・ヒーリングアンケート調査結果（お住まい）

2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（まほろば健康パーク来園範囲内の類似施設（国営・県営都市公園））

- ◆ 本公園における利用圏域内には、10ha以上の面積を有する類似施設として、大洲池公園、橿原公苑などが点在している。

類似施設（約10ha以上の奈良県内の国営・県営都市公園）の分布状況

| 公園名 | 所在地 | 供用面積(ha) | 主なテーマ |
|---------------|-----------|----------|-----------|
| 奈良公園 | 奈良市 | 511.3 | 歴史、自然環境 |
| 県営平城宮跡歴史公園 | 奈良市 | 8.1 | 歴史、自然環境 |
| 大洲池公園 | 奈良市 | 23.5 | 自然環境、スポーツ |
| 大和民俗公園 | 大和郡山市 | 22.6 | 歴史、自然環境 |
| まほろば健康パーク | 大和郡山市、川西町 | 11.8 | スポーツ、環境保全 |
| 橿原公苑 | 橿原市 | 10.2 | スポーツ |
| 馬見丘陵公園 | 広陵町、河合町 | 56.2 | 花、自然環境 |
| 竜田公園 | 斑鳩町 | 14.0 | 景観保全 |
| 県営うだ・アニマルパーク | 宇陀市 | 8.2 | 動物愛護 |
| 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 | 奈良市 | 31.8 | 歴史、自然環境 |
| 同 飛鳥区域 | 明日香村 | 59.9 | 歴史、自然環境 |

資料：まほろば健康パーク機能強化基本計画（令和4年3月 奈良県）



類似施設（約10ha以上の奈良県内の国営・県営都市公園）の分布状況

2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査(まほろば健康パーク来園範囲内の類似施設(市・町管理の公園、民間施設))

◆ 本公園における利用圏域内には、市・町や民間事業者が整備している各種遊び場を有する施設がある。

類似施設(各種遊び場を有する施設)の分布状況

| 施設名 | 所在地 | 施設概要 |
|----------------------|-------|-------|
| ゆめのくに新大宮 | 奈良市 | 室内遊び場 |
| ニンジャパーク奈良店(ミ・ナアラ) | 奈良市 | 室内遊び場 |
| ラウンドワンスタジアム 奈良ミ・ナアラ店 | 奈良市 | 室内遊び場 |
| 柏木公園 | 奈良市 | 公園 |
| 竹取公園 | 広陵町 | 公園 |
| 奈良わんぱくランド はしゃきっず | 天理市 | 室内遊び場 |
| 天理駅前広場コフフン | 天理市 | 駅前広場 |
| キッズランド US 奈良香芝店 | 香芝市 | 室内遊び場 |
| ひみっこぱーく | 桜井市 | 室内遊び場 |
| モーリーファンタジー 桜井店 | 桜井市 | 室内遊び場 |
| 二上山ふるさと公園 | 葛城市 | 公園 |
| 葛城山麓公園 | 葛城市 | 公園 |
| モーリーファンタジー 大和郡山店 | 大和郡山市 | 室内遊び場 |
| 橿原市立こども科学館 | 橿原市 | 科学館 |
| 香久山公園 | 橿原市 | 公園 |
| モーリーファンタジー 橿原店 | 橿原市 | 室内遊び場 |
| アミパラ 橿原店 | 橿原市 | 室内遊び場 |
| 生駒山上遊園地 (ITADAKI) | 生駒市 | 遊園地 |
| 生駒山麓公園・フィールドアスレチック | 生駒市 | 公園 |
| モーリーファンタジー 登美ヶ丘店 | 生駒市 | 室内遊び場 |
| 農業公園信貴山のどか村 | 三郷町 | 公園 |

資料:HP等から類似施設を調査(奈良県公園緑地課)



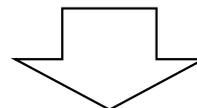
2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（まほろば健康パークの利用圏域内における子どもに関する公園施設等の整備状況）

◆ 県管理公園では、未就学児や屋内遊戯施設が不足している。

| 公園等管理者 | 子どもの遊びや運動に関する施設 | | | | | | |
|------------------|-----------------|-----------|--------------------------|--|-------------------------|-----------------------|----------|
| | ①遊具 | | ②広場 (多目的 or 芝生) | ③屋内遊戯場 | ④ファミリー プール | ⑤運動施設 | |
| | 未就学児 | 就学児 | | | | 体育館 | 屋外 |
| 県管理の公園 | × | ○ 4箇所 | ○ 6箇所 | × | △ 1箇所 (まほろば健康パーク) | ○ 3箇所 | ○ 3箇所 |
| 市・町管理の公園（街区公園除く） | ○ 3箇所 | ○ 7箇所 | ○ 9箇所 | △ 2箇所 (奈良市子どもセンター) (桜井市ひみっこばーく) | △ 1箇所 (榎原運動公園) | △ 1箇所 (鴻ノ池運動公園) | ○ 4箇所 |
| 参考 (民間) | ○ 6箇所 | ○ 11箇所 | △ 1箇所 (生駒山上遊園地) | ○ 11箇所 | × | ○ 3箇所 | × |

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。
 ※本調査は、公園企画課による調べ。



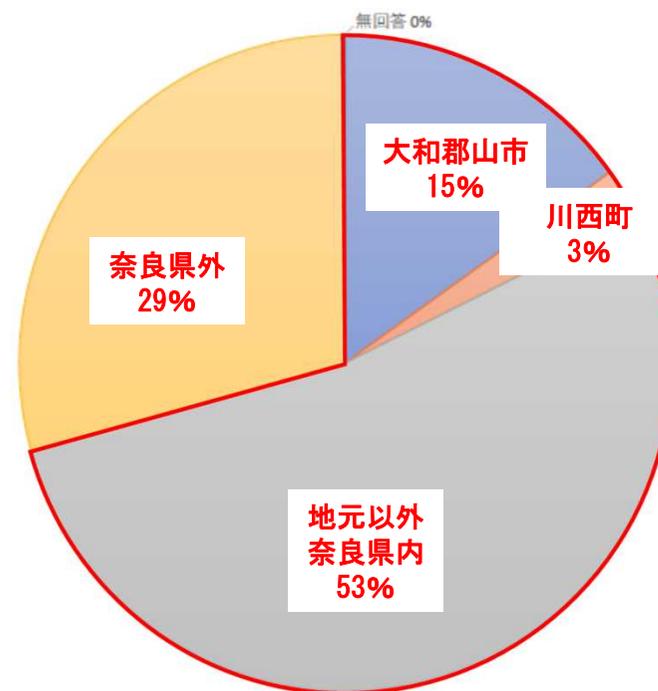
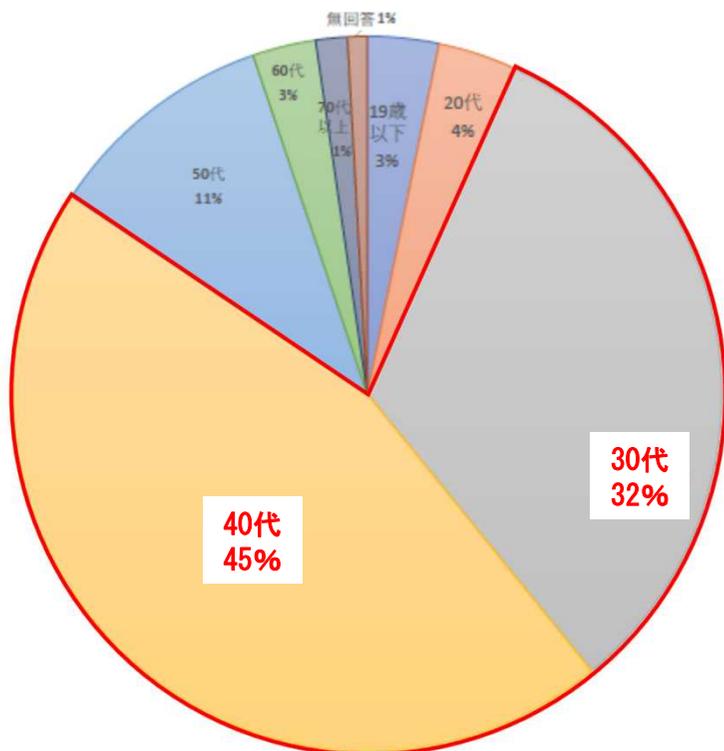
○凡例
 ○：3件以上
 △：3件未満

新たな施設の整備については、ニーズを把握して他の既存施設とは異なる付加価値の検討が必要である。

2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（アンケート調査結果）

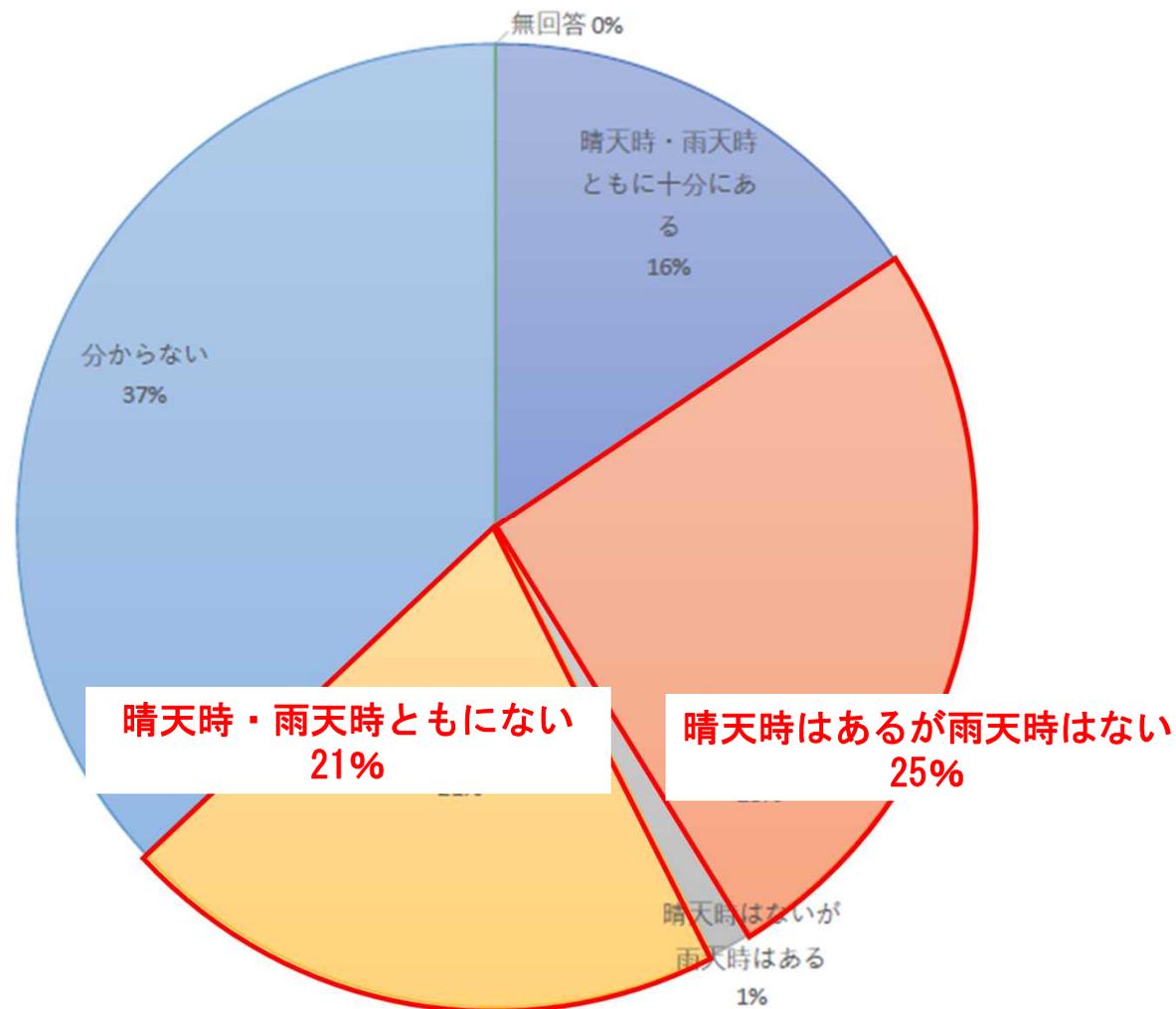
- ◆ 令和5年8月3～6日（平日、土日それぞれ2日間）にまほろば健康パークファミリープール利用者を対象にアンケート調査を実施した。（回答数555人）
- ◆ 年齢層は30と40代が約8割であり、お住まいは「奈良県内」が約7割となった。



2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（アンケート調査結果（子どもを遊ばせる場所））

- ◆ 県内の子どもを遊ばせる場所が「晴天時はあるが雨天時はない」と「晴天時・雨天時ともない」が約5割であり、雨天時に遊べる施設に対するニーズが高い。

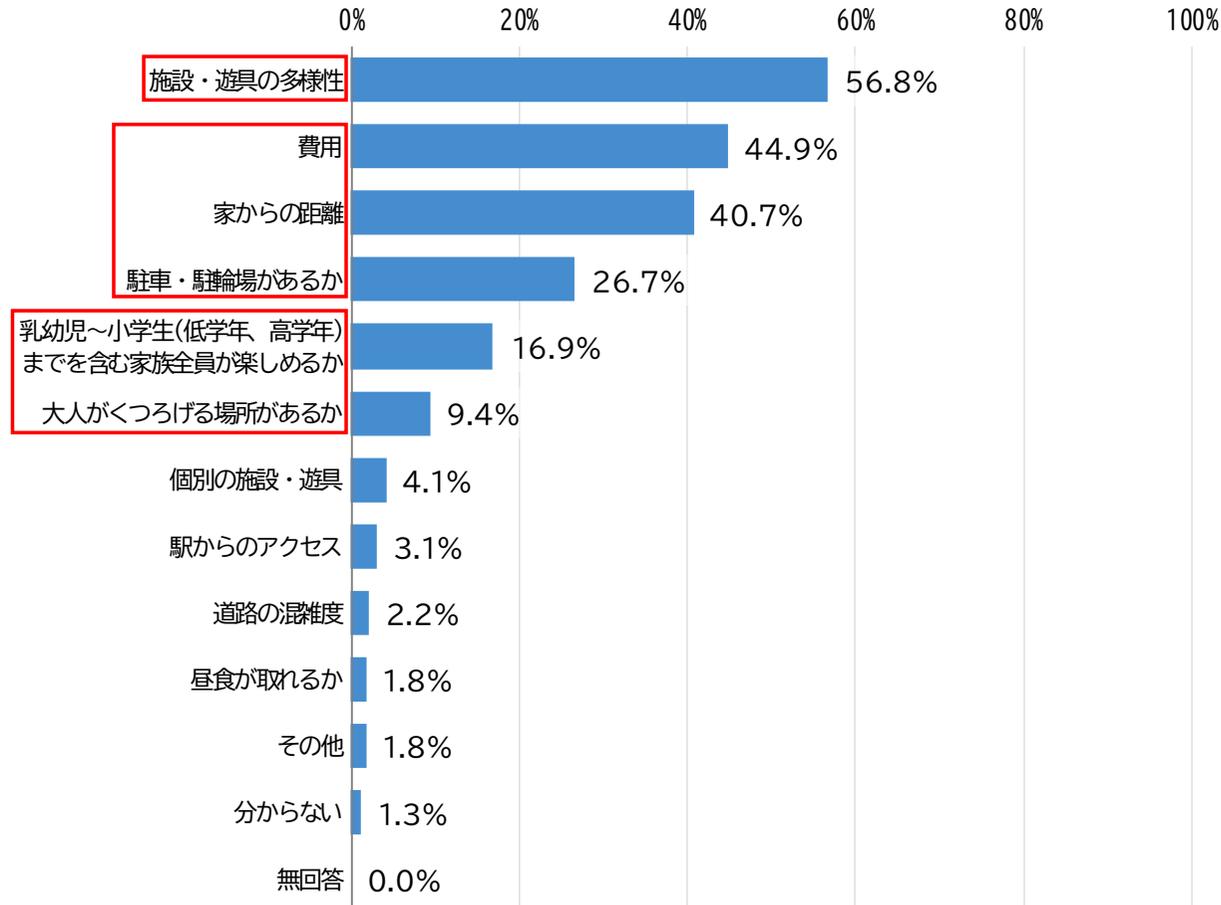


2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（アンケート調査結果（子どもと公園等に出かける際に重視している点））

- ◆ 施設・遊具の整備に関しては、「個別の施設・遊具」ではなく、「施設・遊具の多様性」を重視している。
- ◆ 「費用」と「家からの距離」や「駐車・駐輪場があるか」といった、アクセスの良さを、次に重視している。
- ◆ 「乳幼児～小学生（低学年、高学年）」、「大人がくつろげる場所があるか」といった、大人も含めた家族全員が楽しめるかといった点も重視している。

○子どもと公園等に出かける際に重視している点

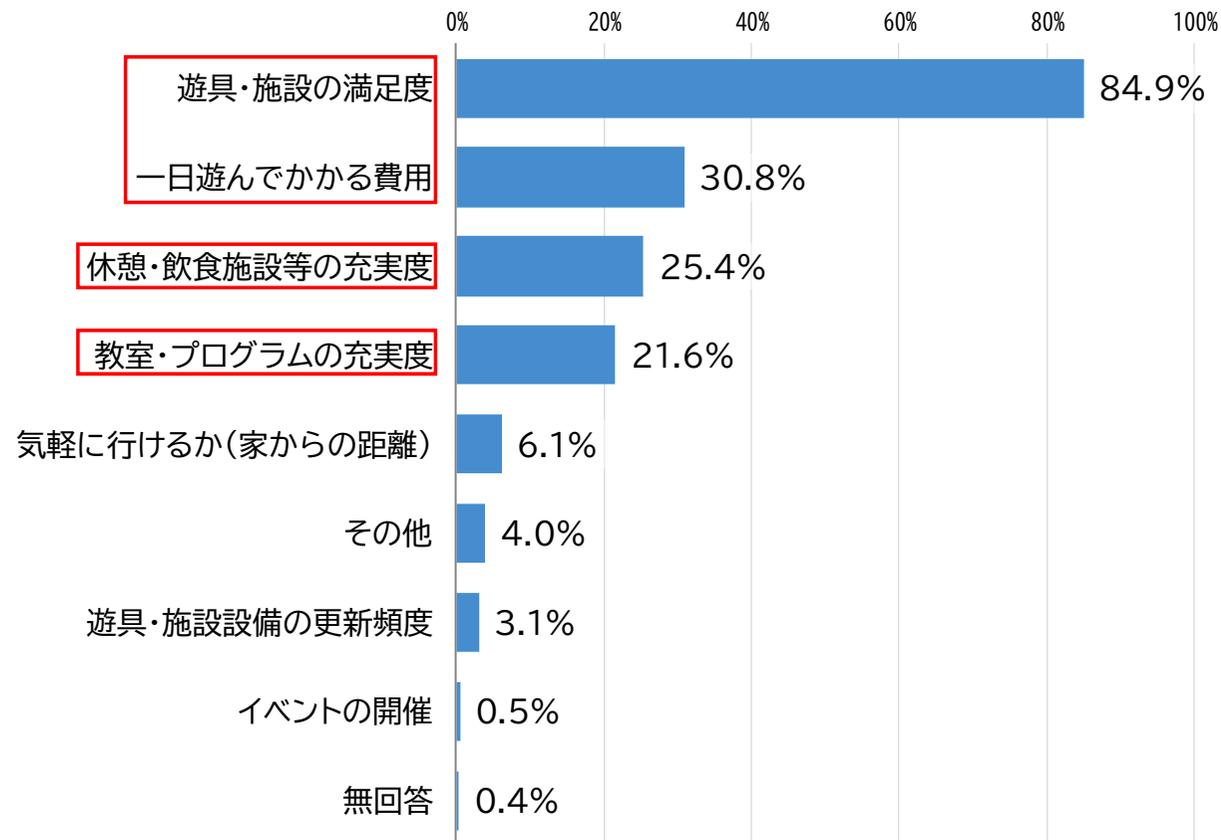


（複数回答可、3つまで）

2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（アンケート調査結果（公園等に再び訪れる際に重視する点））

- ◆ 「一日遊んでかかる費用」より、「遊具・施設の満足度」を重視している。
- ◆ 「休憩・飲食施設等の充実度」も重視している。
- ◆ 「教室・プログラムの充実度」も重視している。



2. 事業の必要性（現状整理）

■現状整理・ニーズ調査（県内福祉団体等からのヒアリング結果（12団体30人に対してヒアリング））

○施設・遊具の整備

- ・ 大型ベッドのあるトイレ、介助者と一緒に入ることの出来るトイレは必要。
- ・ 音で遊ぶ遊具には、併せて光で遊ぶ機能もつけてほしい。
- ・ 突然、走り出したりして、遊具等にぶつかったり、転んだりする。そういった際に、怪我をしないように、素材等は柔らかいものを使ってほしい。
- ・ リハビリテーションセンターにある、障害の程度に応じて遊具等を組み替えて作る、スタートとゴールのあるサーキット活動（山あり、谷あり、平行棒等）の出来る場所を設けてほしい。
- ・ 充電が必要な医療機器も多数あるので、電気の取れる場所もあるとありがたい。
- ・ 子どもが遊んでいる間、親もくつろげる場所をつくってほしい。
- ・ 電光掲示板やフラッシュライト等で聴覚障害者にも情報が伝わるようにしてほしい。
- ・ ピクトグラム等を使用するなどわかりやすい案内が必要。
- ・ 車で行くことが基本となるので、障害のある子どもの遊ぶエリアは駐車場を近くに設けてほしい。

○雨天時等でも遊べる場所

- ・ 温度調節が難しい子もいるので、屋内で遊ぶことの出来る施設があるとありがたい。
- ・ 自由に動き回る（走り回る）ことができる広い屋内施設がほしい。

○交流する仕組み

- ・ 障害のある人とない人がともに交流が出来るような工夫をしてほしい。
- ・ 公園利用者同士が自然と声をかけあったり、一緒に遊んだりする環境づくりをするために、コーディネーターやプレーリーダーなどを配置してコミュニケーションを促す土壌づくりをしてほしい。
- ・ 公園の中で、ある程度のゾーン分けは必要と思うが、年齢や障害の有無等ではっきりとわけないでほしい。

○自然の活用

- ・ 拡張予定区域にある既存の自由広場は残してもらいたい。
- ・ 土や自然に触れる場所が身近になく、木登りなんかも出来る場所があると良い。
- ・ 花を楽しむことの出来る空間があると良い。

2. 事業の必要性（現状整理）

■ニーズ調査等から求められる機能

| | 項目 | 内容 |
|-----|-----------------|--|
| 整備 | ①インクルーシブな施設・遊具等 | 施設・遊具の多様性が求められており、バリアフリーの基準を満たすだけではなく、アクセスも含めて、様々な人に配慮したインクルーシブな施設整備が求められている。また、大人もくつろいだり楽しめる場所が求められている。 |
| | ②雨天時等でも遊べる場所 | 屋内遊戯場や体育館といった雨天時等に遊べる場所は一定数あることから、そういった施設とは異なる雨天時等に遊べる場所が求められている。 |
| 運営 | ③交流を促す仕組み | プレーリーダーの配置やゾーニングの工夫等によって、健常者と障害者や障害者同士の交流が深まる仕組みが求められている。 |
| | ④幅広い内容の教室・プログラム | 施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関するプログラム等が求められている。 |
| その他 | ⑤自然の活用 | 木登りや泥遊び等、自然と触れあえることのできる場所やサービスに対してニーズがある。 |

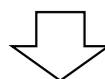
2. 事業の必要性（現状整理）

■ニーズ調査を踏まえた現状分析

◆ ニーズ調査等から求められる機能が、まほろば健康パーク利用圏域内では不足している状況。

| 公園管理者名 | ニーズ調査等から求められる機能 | | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| | ①インクルーシブ機能 | ②雨天時等でも遊べる場所 (屋内遊戯場、屋内運動施設以外) | ③交流を促す仕組み | ④幅広い内容の教室・プログラム | ⑤自然の活用 |
| 県管理の公園 | × | △ 1箇所 (馬見丘陵公園) | × | × | × |
| 市・町管理の公園 (街区公園除く) | △ 1箇所 (柏木公園) | △ 1箇所 (榎原運動公園) | △ 1箇所 (奈良市子どもセンター) | △ 1箇所 (奈良市子どもセンター) | △ 2箇所 (生駒山麓公園) (信貴山のどか村) |
| 参考 (民間) | × | × | × | × | × |

○凡例
○：3件以上
△：3件未満



※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。
※本調査は、公園企画課による調べ。

障害のある人もない人もすべての人が利用できる、インクルーシブ公園としての整備

3. 事業の基本コンセプト・方針

事業の再計画

【基本コンセプト】

○すべての人が楽しく利用できる公園

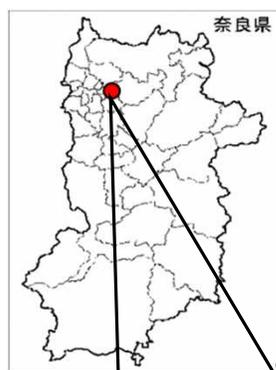
幅広い世代の子ども、保護者の交流を促す公園

○子どもの主体的な遊びを通して子育て・子育て支援に資する公園

多様なニーズに対応出来るように、プレーリーダーを配置する等、運営を充実させるとともに、民間のノウハウを積極的に導入して魅力的なサービスを提供

【基本方針】

既存公園エリアを含めた公園全体でインクルーシブ機能の確保



4. 整備内容の検討

事業の再計画

■ 整備内容の再検討

基本コンセプト・方針を踏まえ整備内容を検討するため、以下の項目を実施

1. インクルーシブ公園の事例確認、現地視察

2. アンケート調査の実施

○よりよい公園をつくるために、子どもを対象としたアンケートを実施

- ・ファミリープール利用者
- ・近隣小学校
- ・養護学校

3. サウンディング調査の実施

○導入する機能や提供サービスについて、広く民間事業者の意見を聴取

- ・民間事業者 17団体
(建設、不動産、通信、遊具、スポーツ、アウトドア、イベント、子育て支援施設運営者等)

4. 整備内容の検討

1. インクルーシブ公園の事例確認、現地視察

①インクルーシブな機能



○寝転べる広さがあり姿勢の保持が難しい子どもと一緒に楽しめる遊具（柏木公園（奈良県））

出典：奈良市HP“公園 施設一覧”

②雨天時等でも遊べる場所



○大型テントにて多目的に活用（馬見丘陵公園（奈良県））

出典：奈良県HP“第4回 馬見フラワーフェスタ”

③交流を促す仕組み



○羽根木プレーパーク（東京都世田谷区）

・「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした遊び場で、プレーリーダーや地域のボランティアに見守られながら、普通の公園ではできない焚き火や泥遊び、木登りなどを教えてくれる。幼児から学童までを中心に多世代が集い、自由な遊びができる場です。

出典：認定NPO法人プレーパークせたがやHP“よろしく！プレーパークせたがやです”

④幅広い内容の教室・プログラム



○自然とのふれあいができるプログラム（プレーパークこうりがおか（大阪府））

出典：枚方市HP“桑ヶ谷の森で遊ぼう（プレーパークこうりがおか 毎月第4土曜日）”

⑤自然の活用



○キャンプ場（生駒山麓公園（奈良県））

出典：生駒山麓公園HP“野外活動センター”

4. 整備内容の検討

2. アンケート調査の実施

- ・ よりよい公園をつくるために、こどもアンケートを実施
- ・ 調査対象 ファミリープール利用者492人、近隣小学校生徒688人、養護学校116人

○主な意見

1 公園利用の状況について

- 1) ファミリープールは県内外からの利用者が多数訪れ、リーズナブルな価格も人気が高い
- 2) 小学校低学年や幼児は遊具を使った遊びが人気
- 3) 小学校高学年はボール遊びや鬼ごっこなど体を使った遊びの人気が高い
- 4) 散歩や虫取り、のんびり過ごすような静かな遊びを好む層も一定量いる

2 公園の要望について

- 1) 夏場を中心とした水遊びの要望が高い
- 2) ボール遊びのできる広い空間、芝生広場に対する要望が目立った
- 3) 大規模な遊具やアスレチック、迷路遊び等の人気が高い
- 4) 休憩する場所、屋根のある遊び場等の要望があった
- 5) イベントや遊びのプログラム、自分で遊びを作る等のニーズも一定ある
- 6) みんなが楽しめる公園に対する理解も一定量いる

3 どんな公園が増えてほしいか

- 1) 広い公園、グラウンド
- 2) きれいなトイレや手洗い・水飲み場がある
- 3) 整備されているきれいな公園

4. 整備内容の検討

3. サウンディング調査の実施

- ・ 導入する機能や提供すべきサービスについて、広く民間事業者等の意見を聴取する
- ・ 参加団体 民間事業者等 17団体
(建設、不動産、通信、遊具、スポーツ、アウトドア、イベント、子育て支援施設運営者等)

○主な意見

1 公園に関する基本的な考え方について

- 1) インクルーシブの理念は共感するが、事業者としては収益も大きな要素であるため、県内に同様の施設が無ければ、アピール次第では可能性はある
- 2) 現在は遊び方も利用者に任ずようなコンセプトが主流である
- 3) どの年代をターゲットにするのか、ある程度ゾーニングする必要がある
- 4) インクルーシブで類似の所は無く、インクルーシブ視点は良い

2 需要の見込みについて

- 1) 子育て世代から親が交流できる場の要望や、ユニバーサルスポーツの理解不足による利用制限を受けること等多く聞くため、インクルーシブ視点はとても良いが、利用者数の観点からみると少数派で、事業者としては懸念する点である

3 管理・運営について

- 1) 既存公園エリアにはプールや会議室が備わるスイムピアがあり、そこを拠点に各施設に人員配置することが想定され、新設公園エリアのみを管理運営するのは、需要の見込みが難しくかつ管理でも連携が必要なことから、既存公園エリアを含めた管理運営が望ましい

4. 整備内容の検討 (計画平面図)

○障害のある方もアクセス可能なアウトドア・樹林エリア

現在の緩衝緑地の自然を活かしたキャンプ場



樹林を活かしたアクティビティ



○様々な子どもたちと一緒に遊び場を創るプレイパークエリア

プレーリーダーを配置して、子どもが自由に遊べる環境づくり



火起こしや泥遊びなどここでしかできない遊び体験



○多様な人の交流を促す拠点となる交流エリア

シェードや樹林の木陰を利用したくつろげる場所



多くの人がいっしょに過ごすことができる芝生広場



○日光に過敏な子どもも自然を感じておもいきり遊ぶ大屋根広場エリア

雨でも走りまわったりいろいろな運動ができる大屋根ひろば

大屋根の下で多様な運動プログラムの実施

猛暑の中でも遊べる室内施設やカフェレストラン



※下水道計画範囲にある各エリアの施設配置等の詳細は、下水道管理者と協議のうえ、決定するものとする。隣接する施設管理者等との調整が未了のため、今後の調整により、修正される場合があります。

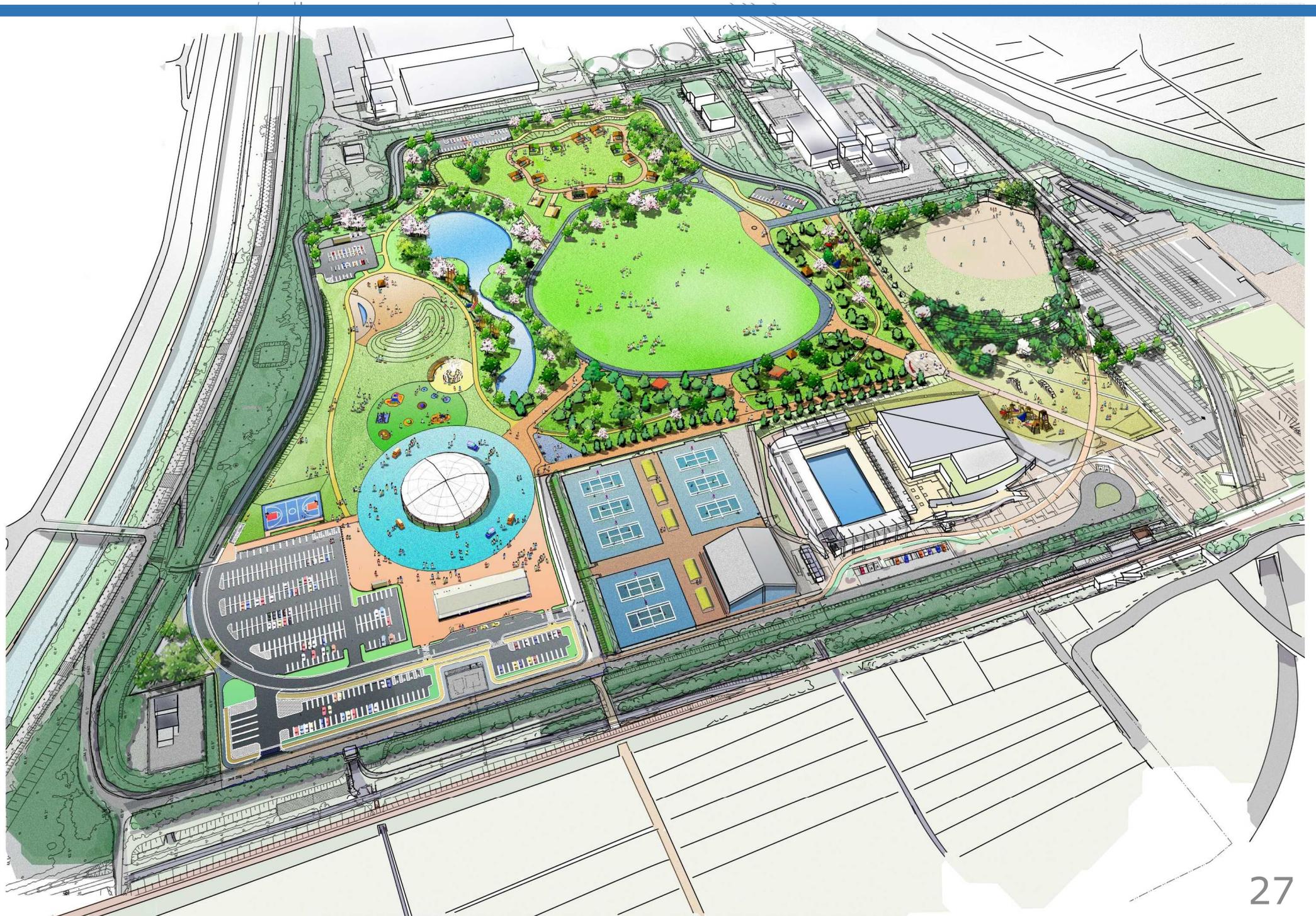
○インクルーシブ化に向けて改修や運用を変更する既存公園エリア

いつでも自由にボール車いす利用者と一緒に遊びができるように野球場を一般開放



子ども広場の遊具をワークショップを通して多様化

4. 整備内容の検討（イメージパース）



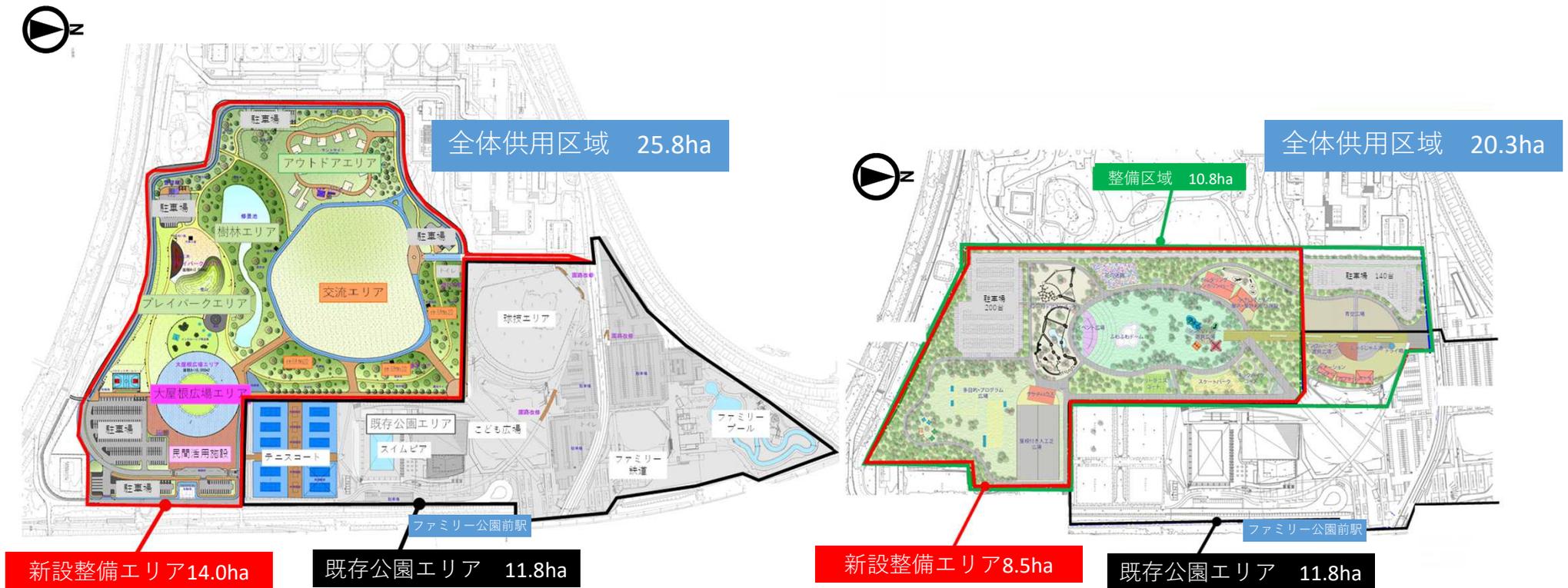
4. 整備内容の検討（新旧対照表）

| | 事業の再計画（R7.3月） | 事業採択時の計画（R4.3月） |
|----------|--|---|
| ①基本コンセプト | <ul style="list-style-type: none"> ○すべての人が楽しく利用できる公園 ○こどもの主体的な遊びを通して子育て・子育て支援に資する公園 | 乳児・幼児～小学生の子どもを対象とした、「遊び・運動・スポーツを通して成長できる公園づくり」 |
| ②基本方針 | 既存公園エリアを含めた公園全体でインクルーシブ機能の確保 | <ul style="list-style-type: none"> （1）乳児・幼児向けの知育・遊びの施設・機能の強化 （2）小学生以下の子どもが、遊び・運動やスポーツを楽しめる施設・機能の強化 （3）多様なスポーツに取り組むことができる施設の強化 （4）子ども連れの家族が憩え、休憩できる施設・機能の充実 |
| ③新設整備エリア | <ul style="list-style-type: none"> ①多様な人の交流を促す拠点となる交流エリア <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場、休憩施設 ②日光に過敏なこどもも自然を感じておもいきり遊べる大屋根広場エリア <ul style="list-style-type: none"> ・大屋根広場（2,000m²） ・民間活用施設 ③様々なこどもたちといっしょに遊び場を創るプレーパークエリア <ul style="list-style-type: none"> ・泥んこ遊び等の空間 ④障害のある方もアクセス可能なアウトドア・樹林エリア <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場 ・アスレチック | <ul style="list-style-type: none"> ①乳児・幼児が遊びを通して成長できるゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児用屋内屋外遊戯施設 ②子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設 <ul style="list-style-type: none"> ・わんぱく遊具、イベント広場 ・フィールドアスレチック ③子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・屋根付き人工芝広場（4,000m²） ④エントランスゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ・レストラン |
| ④整備費 | 約39億円 | 約55億円 |

4. 整備内容の検討（新旧対照計画平面図）

○主な変更点

- ・ 施設整備計画対象範囲は、**新設整備エリアに加え、既存公園エリアを含めた公園全体**とし、**全体の一体的なつながりや回遊を生み出せるように、交流エリアを中心に各エリアを散策しやすい配置とした。**
- ・ 樹林エリア等の既存樹木や園路は**現地形を最大限に活用した施設配置**とし、樹林を活かした体験ができる施設を設けることで、**自然との調和とコスト縮減の両立を図った。**



事業の再計画 (R7. 3月)

事業採択時の計画 (R4. 3月)

5. 費用対効果分析

(1) 公園事業の費用便益比 (B/C)

- ・改訂第4版 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル (国土交通省)
(以下マニュアルという) に基づいて算定

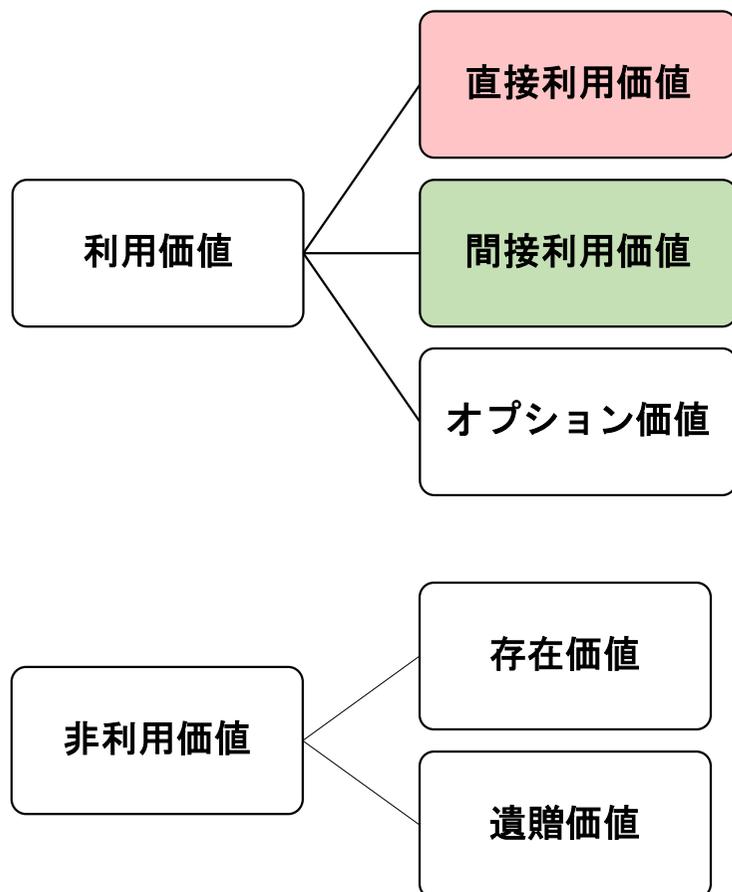
- ・ **便益** : 公園整備によってもたらされる価値を貨幣換算したもの ※次頁参照
- ・ **費用** : 公園整備に要する整備費 (用地費+施設費)、維持管理費

$$\frac{\text{便益}}{\text{費用}} = \frac{\text{直接利用価値} + \text{間接利用価値}}{\text{整備費+維持管理費}}$$

5. 費用対効果分析

1) 便益の計測対象

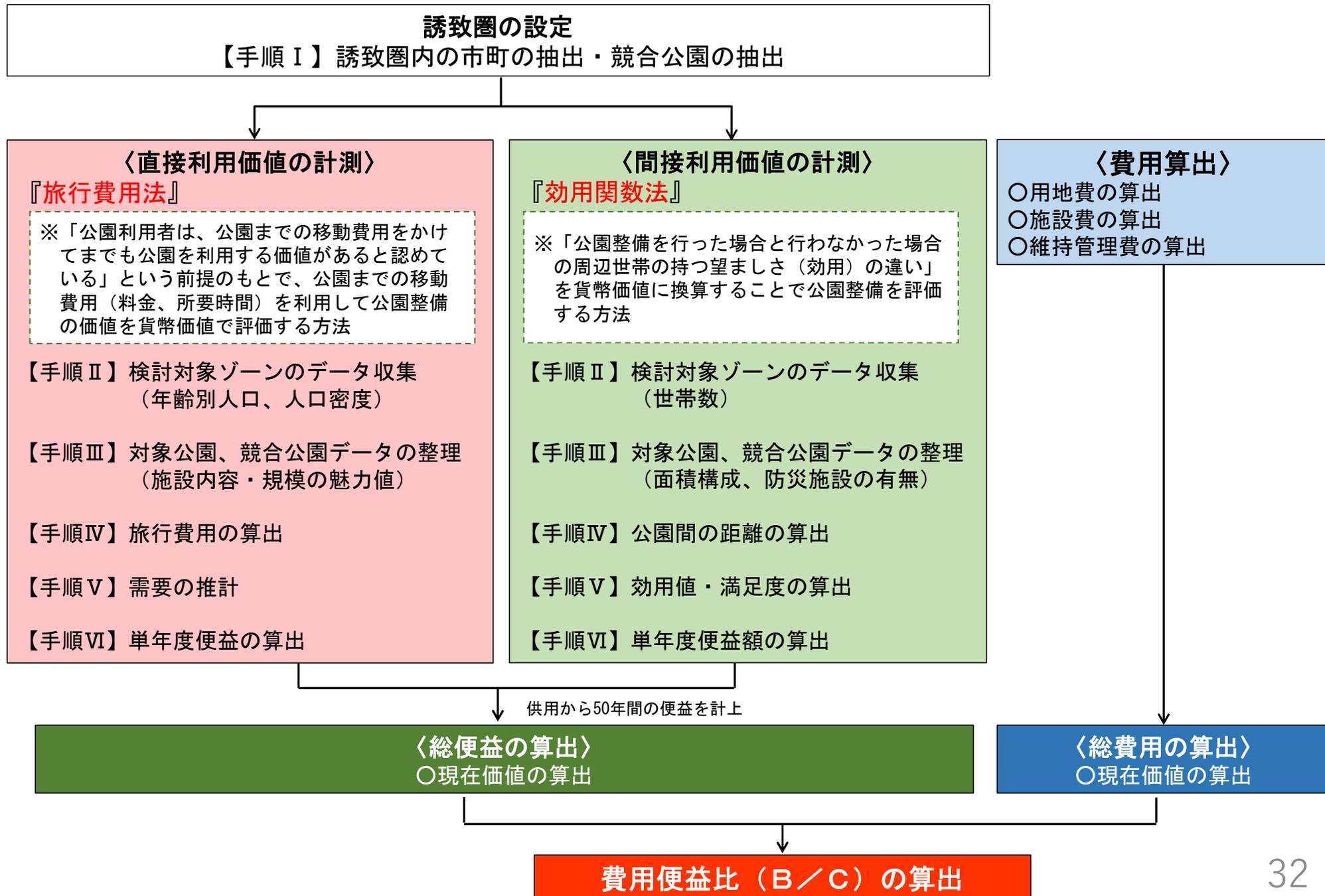
都市公園のような非市場財の整備によって発生する経済的価値とは、利用価値、非利用価値に大別される。今回の計測では、マニュアルのうち以下表の項目を対象として計測している。



| 価値分類 | 機能 | 価値の種類 |
|---------------|----------------------|-----------------------|
| 直接 利用価値 | 健康・レクリエーション 空間の提供 | 健康促進 |
| | | 心理的な潤いの提供 |
| | | レクリエーションの場の提供 |
| | | 文化的活動の基礎 |
| | | 教育の場の提供 |
| 間接 利用価値 | 都市環境 維持・改善 | 緑地の保存 |
| | | 動植物の生息・生育環境の保存 |
| | | ヒートアイランド現象の緩和 |
| | | 二酸化炭素の吸収 |
| | | 森林の管理・保全、荒廃の防止 |
| | 都市景観 | 季節感を享受できる景観の提供 |
| | | 都市形態規制 |
| | 都市防災 | 災害応急対策施設の確保（貯水槽、トイレ等） |
| | | 火災延焼防止・遅延 |
| | | 災害時の避難地確保 |
| 災害時の救援活動の場の確保 | | |
| 復旧・復興の拠点の確保 | | |

5. 費用対効果分析

2) 費用便益分析の流れ



5. 費用対効果分析

- 前回の新規事業化に係る施設費は約55億円であったが、今回の計画に係る施設費は約39億円であり、前回と比較して**約16億円の削減**となった。

| 施設 | 施設費 |
|------------------|----------|
| 交流エリア | 15百万円 |
| 大屋根広場エリア | 1,200百万円 |
| プレイパークエリア | 122百万円 |
| アウトドアエリア | 31百万円 |
| 樹林エリア | 82百万円 |
| 既存公園エリア | 489百万円 |
| 駐車場 | 127百万円 |
| その他 (造成、伐採工等) | 1,878百万円 |



計：3,944百万円
(24千円/m²)

○主な削減内容

- ① 野球場撤去取りやめ
- ② 大屋根の規模変更 (4,000m³ → 2,000m²)
- ③ 現地形を最大限活かした施設配置計画

【参考】県営都市公園の施設費

| 公園名 | 面積 (ha) | 千円/m ² |
|----------------------------|---------|-------------------|
| 檀原公苑 (S55~S60) | 10.2 | 32.3 |
| 大淵池公園 (S48~H12) | 23.5 | 24.7 |
| 馬見丘陵公園 (S59~H23) | 56.2 | 22.9 |
| 大和民俗公園 (S47~H13) | 22.6 | 11.1 |
| 福祉パーク (H7~H10) | 2.2 | 100.0 |
| 平城宮跡歴史公園朱雀大路 西側地区(H28~) | 3.1 | 112.9 |
| まほろば健康パーク (H24~H26) | 11.8 | 55.1 |
| まほろば健康パーク (R3) | 10.8 | 55.0 |

5. 費用対効果分析

- 前回の新規事業化に係る維持管理・運営費（新設部）は約3億円であったが、今回の計画に係る維持管理・運営費は約2億円であり、前回と比較して**約1億円の削減**となった。

| 施設 | 維持管理・運営費 |
|---|----------|
| 交流エリア（園路広場2.6ha） | 44百万円／年 |
| 大屋根広場エリア （屋根付き広場2,000m ² 、 屋内遊戯施設800m ² ） | 3百万円／年 |
| プレイパークエリア （園路広場4.1m ² ） | 23百万円／年 |
| アウトドアエリア （園内広場1.6ha） | 35百万円／年 |
| 樹林エリア （園内広場2.7ha） | 16百万円／年 |
| 駐車場 | 29百万円／年 |
| その他 （造成、伐採工等） | 54百万円／年 |

○主な削減内容

- ① プレーリーダーの配置見直し

～まほろば健康パーク実績（R3）～

| 施設 | 項目 | 管理運営費 |
|--|--------|----------|
| 乳幼児・子ども 屋内屋外施設 （500m ² +800m ² ） | ・維持修繕費 | 146百万円／年 |
| 園路広場 （7.6ha） | ・維持修繕費 | 78百万円／年 |
| フィールドアス レチック・屋根 付き広場 （1.0ha） | ・維持修繕費 | 54百万円／年 |
| 合計 | | 278百万円／年 |



計：204百万円／年

5. 費用対効果分析

3) 算出条件の比較

- ・ 対象面積 : 26.3ha (現在の公園区域11.8ha + 拡張区域14.5ha (8.5ha))
- ・ 基準年 : 令和7年度 (令和3年度)
- ・ 評価期間 : 70年間 (H23~R62年) (部分供用含む)
- ・ 社会的割引率 : 4%
- ・ 誘致圏の設定 : 利用圏域15km
- ・ 推計に用いた資料 : 国勢調査 : 令和2年 (平成27年)
国立社会保障・人口問題研究所の将来人口値

※青字は事業採択時 (R3)

5. 費用対効果分析（事業採択時（R3）との比較）

○R7費用対効果

| 便益（現在価値化後） | | | |
|------------|----|-------------------|-------------------|
| 価値区分 | | 算出価値(百万円) | |
| 直接利用価値 | | 17,623 | |
| 間接利用価値 | 環境 | 12,186 | 47,544 ※34,971 |
| | 防災 | 35,358 ※24,164 | |
| | | | 65,167 ※52,594 |

（※：青文字は防災拠点機能を設定しない場合）

| 総費用（現在価値化後） | | |
|----------------|-----------|--------|
| 費用区分 | 算出価値(百万円) | |
| 用地費（機会費） | 14,251 | 35,080 |
| 施設費 | 13,386 | |
| 管理運営費（H24～R61） | 7,451 | |

B/C

1.86
※1.50

○参考（R3費用対効果）

| 便益（現在価値化後） | | | |
|------------|----|-------------------|-------------------|
| 価値区分 | | 算出価値(百万円) | |
| 直接利用価値 | | 11,687 | |
| 間接利用価値 | 環境 | 10,925 | 39,721 ※28,183 |
| | 防災 | 28,796 ※17,258 | |
| | | | 51,408 ※39,870 |

（※：青文字は防災拠点機能を設定しない場合）

| 総費用（現在価値化後） | | |
|----------------|-----------|--------|
| 費用区分 | 算出価値(百万円) | |
| 用地費（機会費） | 9,552 | 37,298 |
| 施設費 | 13,471 | |
| 管理運営費（H26～R58） | 14,275 | |

B/C

1.38
※1.07

（※防災機能とは、消火用水等として水を活用できる池や緊急輸送に対応するヘリポート等を指す。）

5. 費用対効果分析（参考資料）

【参考】

新設整備エリア

| 価値区分 | | 算出価値(百万円) | | |
|--------|----|-------------------|-------------------|-------------------|
| 直接利用価値 | | 7,963 | | |
| 間接利用価値 | 環境 | 6,180 | 28,563 ※16,013 | 36,526 ※23,976 |
| | 防災 | 22,383 ※11,183 | | |

（※：青文字は防災拠点機能を設定しない場合）

| 費用区分 | 算出価値(百万円) | |
|---------------|-----------|--------|
| 用地費(機会費) | 6,069 | 13,305 |
| 施設費 | 3,574 | |
| 管理運営費(R9~R58) | 3,662 | |

2.75
※1.80

既存公園エリア

| 価値区分 | | 算出価値(百万円) | | |
|--------|----|-----------|--------|--------|
| 直接利用価値 | | 15,848 | | |
| 間接利用価値 | 環境 | 10,148 | 32,525 | 48,373 |
| | 防災 | 22,377 | | |

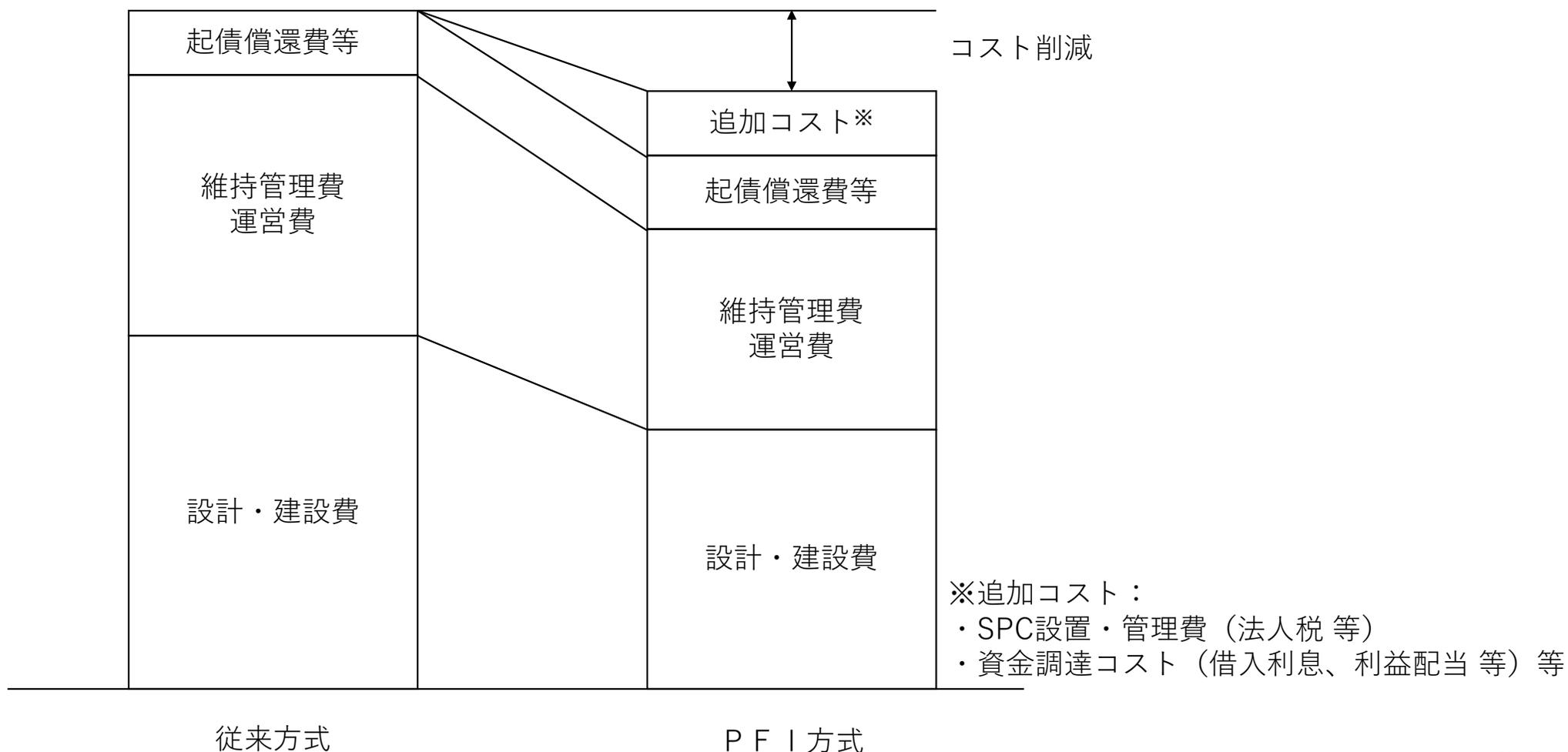
（※：既存公園エリアは防災拠点機能は無）

| 費用区分 | 算出価値(百万円) | |
|----------------|-----------|--------|
| 用地費(機会費) | 8,181 | 21,782 |
| 施設費 | 9,812 | |
| 管理運営費(H26~R58) | 3,789 | |

2.22

6. コスト削減の取組（民間手法の導入）

公共空間としての公平性や公益性を担保しつつ、PFIなどの新しい制度を活用する全国の動きも踏まえ、民間のノウハウや創意工夫を最大限活かすことで、施設整備・管理運営費の縮減と同時に継続的な魅力向上を図る。



6. コスト削減の取組（建設発生土の有効利用）

－450百万円

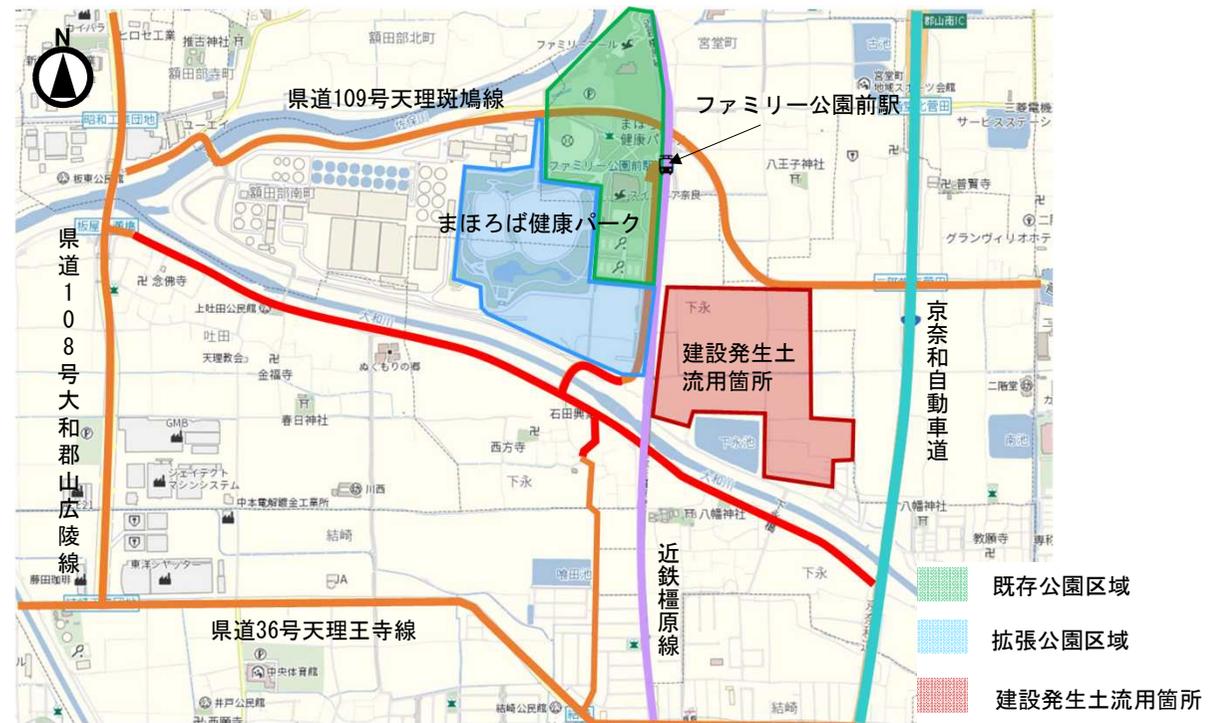
近鉄橿原線を挟んだ県有地に「子どもを中心に多様な交流が生まれるまち KAWANISHI」をテーマに「地域のスポーツ振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点の誘致」等を基本方針として検討が進められている。

今後、事業を行うにあたり、造成工事を予定していることから、まほろば健康パークで発生する建設発生土約10万m³を有効利用し、コスト削減が期待できる。

まほろば健康パーク

発生土 : 約10万m³
運搬距離 : 約2km

建設発生土流用箇所



| 項目 | 通常処理 | 流用時 | 削減効果 |
|----------------------|--|---|---------|
| 発生土処分費 | 1,400円/m ³ × 100,000m ³ = 140百万円 | 0円 | ▲140百万円 |
| 発生土運搬費 (30km→2km) | 3,700円/m ³ × 100,000m ³ = 370百万円 | 600円/m ³ × 100,000m ³ = 60百万円 | ▲310百万円 |

7. 対応方針（案）

1) 事業の必要性等に関する視点

○ニーズ調査等から求められる機能について、まほろば健康パーク利用圏域内に以下の施設が不足している。

- ①インクルーシブ機能
- ②雨天時でも遊べる場所
- ③交流を促す仕組み
- ④幅広い内容の教室・プログラム
- ⑤自然の活用

以上について、必要性が求められている。

2) 事業の効率性に関する視点

○費用便益比（B／C）は事業全体で1.86（残事業1.35）
⇒効率的な事業であると確認できる。

3) 事業進捗の見込みの視点

○子どもや福祉団体等からの意見を踏まえ、事業を進捗してほしいとの意見がある。
○引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指す。

まほろば健康パーク機能強化事業は、事業の必要性等に関する視点、事業の効率性に関する視点、事業進捗の見込みの視点から「継続」が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指すことが適切である。



事業継続

事業の効率性に関する視点
 についての根拠資料

R 7 費用対効果

総費用（現在価値化後）

| 費用区分 | 算出価値(百万円) | |
|--------------------|-----------|--------|
| 用地費(機会費) | 14,251 | 35,080 |
| 施設費 | 13,386 | |
| 管理運営費 (H24~R61) | 7,451 | |

(委員会資料抜粋)

拡張区域の整備費3,944百万円
 は2029年、2030年で実施予定。
 (施設費はマニュアルに準拠し既存
 施設の整備費用を含む)

現在価値について、割引率
 4%のため、2025年を基準と
 すると2013年の施設費は約1.6
 倍、2035年の施設費は約0.7倍
 と、現在価値化すると過去の
 投資額が大きくなり、未来の
 投資額が小さくなる。

施設費の合計は9,342百万円だ
 が、現在価値化すると過去に
 投資した価格が大きくなるた
 め、13,386百万円となる。

| 費用 [百万円] | 現在価格 | | | | | 現在価値 | | | | |
|-------------|--------|-------------|-------|-----------|-------|---------|---------|-------------|---------|-----------|
| | 建設費 | | | 維持 管理費 | デフレータ | 割引率 | 建設費 | | | 維持 管理費 |
| | 用地費 | 用地費 機会費用 | 施設費 | | | | 用地費 | 用地費 機会費用 | 施設費 | |
| K | L | M | N | O | P | Q=K*O*P | R=L*O*P | S=M*O*P | T=N*O*P | |
| 合計 | 12,048 | 0 | 9,342 | 15,305 | | | 16,068 | 14,251 | 13,386 | 7,451 |
| 2011 | 4,200 | 4,200 | 30 | 0 | 1,250 | 1,732 | 9,091 | 9,091 | 65 | 0 |
| 2012 | 0 | 0 | 776 | 12 | 1,254 | 1,665 | 0 | 0 | 1,620 | 25 |
| 2013 | 0 | 0 | 3,413 | 20 | 1,228 | 1,601 | 0 | 0 | 6,710 | 39 |
| 2014 | 0 | 0 | 514 | 76 | 1,189 | 1,539 | 0 | 0 | 940 | 139 |
| 2015 | 0 | 0 | 25 | 95 | 1,185 | 1,480 | 0 | 0 | 44 | 167 |
| 2016 | 0 | 0 | 25 | 98 | 1,178 | 1,423 | 0 | 0 | 42 | 164 |
| 2017 | 0 | 0 | 26 | 104 | 1,152 | 1,369 | 0 | 0 | 41 | 164 |
| 2018 | 0 | 0 | 26 | 102 | 1,113 | 1,316 | 0 | 0 | 38 | 149 |
| 2019 | 0 | 0 | 26 | 105 | 1,088 | 1,265 | 0 | 0 | 36 | 145 |
| 2020 | 0 | 0 | 27 | 111 | 1,087 | 1,217 | 0 | 0 | 36 | 147 |
| 2021 | 0 | 0 | 28 | 110 | 1,049 | 1,170 | 0 | 0 | 34 | 135 |
| 2022 | 0 | 0 | 28 | 109 | 1,000 | 1,125 | 0 | 0 | 31 | 123 |
| 2023 | 0 | 0 | 28 | 115 | 1,000 | 1,082 | 0 | 0 | 30 | 124 |
| 2024 | 0 | 0 | 29 | 123 | 1,000 | 1,040 | 0 | 0 | 30 | 128 |
| 2025 | 0 | 0 | 29 | 123 | 1,000 | 1,000 | 0 | 0 | 29 | 123 |
| 2026 | 0 | 0 | 30 | 123 | 1,000 | 0.962 | 0 | 0 | 29 | 118 |
| 2027 | 0 | 0 | 30 | 123 | 1,000 | 0.925 | 0 | 0 | 28 | 114 |
| 2028 | 7,848 | 7,848 | 308 | 123 | 1,000 | 0.889 | 6,977 | 6,977 | 274 | 109 |
| 2029 | 0 | 0 | 2,629 | 101 | 1,000 | 0.855 | 0 | 0 | 2,247 | 86 |
| 2030 | 0 | 0 | 1,315 | 203 | 1,000 | 0.822 | 0 | 0 | 1,081 | 167 |
| 2031 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.790 | 0 | 0 | 0 | 241 |
| 2032 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.760 | 0 | 0 | 0 | 232 |
| 2033 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.731 | 0 | 0 | 0 | 223 |
| 2034 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.703 | 0 | 0 | 0 | 214 |
| 2035 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.676 | 0 | 0 | 0 | 206 |
| 2036 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.650 | 0 | 0 | 0 | 198 |
| 2037 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.625 | 0 | 0 | 0 | 191 |
| 2038 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.601 | 0 | 0 | 0 | 183 |
| 2039 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.577 | 0 | 0 | 0 | 176 |
| 2040 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.555 | 0 | 0 | 0 | 169 |
| 2041 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.534 | 0 | 0 | 0 | 163 |
| 2042 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.513 | 0 | 0 | 0 | 157 |
| 2043 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.494 | 0 | 0 | 0 | 151 |
| 2044 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.475 | 0 | 0 | 0 | 145 |
| 2045 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.456 | 0 | 0 | 0 | 139 |
| 2046 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.439 | 0 | 0 | 0 | 134 |
| 2047 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.422 | 0 | 0 | 0 | 129 |
| 2048 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.406 | 0 | 0 | 0 | 124 |
| 2049 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.390 | 0 | 0 | 0 | 119 |
| 2050 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.375 | 0 | 0 | 0 | 114 |
| 2051 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.361 | 0 | 0 | 0 | 110 |
| 2052 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.347 | 0 | 0 | 0 | 106 |
| 2053 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.333 | 0 | 0 | 0 | 102 |
| 2054 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.321 | 0 | 0 | 0 | 98 |
| 2055 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.308 | 0 | 0 | 0 | 94 |
| 2056 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.296 | 0 | 0 | 0 | 90 |
| 2057 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.285 | 0 | 0 | 0 | 87 |
| 2058 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.274 | 0 | 0 | 0 | 84 |
| 2059 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.264 | 0 | 0 | 0 | 80 |
| 2060 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.253 | 0 | 0 | 0 | 77 |
| 2061 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.244 | 0 | 0 | 0 | 74 |
| 2062 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.234 | 0 | 0 | 0 | 71 |
| 2063 | 0 | 0 | 0 | 305 | 1,000 | 0.225 | 0 | 0 | 0 | 69 |
| 2064 | 0 | -4,200 | 0 | 204 | 1,000 | 0.217 | 0 | -910 | 0 | 44 |
| 2065 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.208 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 2066 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.200 | 0 | 0 | 0 | 41 |
| 2067 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.193 | 0 | 0 | 0 | 39 |
| 2068 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.185 | 0 | 0 | 0 | 38 |
| 2069 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.178 | 0 | 0 | 0 | 36 |
| 2070 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.171 | 0 | 0 | 0 | 35 |
| 2071 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.165 | 0 | 0 | 0 | 34 |
| 2072 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.158 | 0 | 0 | 0 | 32 |
| 2073 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.152 | 0 | 0 | 0 | 31 |
| 2074 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.146 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| 2075 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.141 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 2076 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.135 | 0 | 0 | 0 | 28 |
| 2077 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.130 | 0 | 0 | 0 | 27 |
| 2078 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.125 | 0 | 0 | 0 | 26 |
| 2079 | 0 | 0 | 0 | 204 | 1,000 | 0.120 | 0 | 0 | 0 | 25 |
| 2080 | 0 | -7,848 | 0 | 0 | 1,000 | 0.116 | 0 | -908 | 0 | 0 |

